



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.5 >

BULLETIN

2023年7月~2024年6月

会長 樋口 順英
 副会長 青木 方枝
 書記 西澤 紘一
 会計 柿沼 敬喜
 監事 柿沼 敬喜
 監査 西澤 紘一
 担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
 東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
 関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
 クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

5月 母の日

我が子よ、父の諭しに聞き従がえ。母の教えをおろそかにするな。それらは頭に戴く優雅な冠、首にかける飾りとなる。(箴言1章8-9節)

<一般に、母親への関心が強いようですが、聖書では、必ず父親、母親の大切さが語られています。>

2024年5月例会

日時:2024年5月15日(水) 18:30~20:30
 場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター
 ★進行:佐野メン、 受付:西澤メン、
 開会点鐘 樋口 会長
 ワイズソング・ワイズの信条 全 員
 聖句・お祈り 西澤 メン
 ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
 卓話「能登半島地震支援」
 東京YMCA会員部スタッフ 熊沢 佳代 様
 各種報告 樋口 会長
 YMCA 報告 柳原 主事
 ハッピーバースデー 青木、小仁、目黒、柳原各メン
 閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:15名 4月出席率9/13 69%

出席:4月 (メン9名、メネット0名) 計9名

【ニコニコ】 ¥8,000

ユース・エンパワメント

西澤 紘一



1960年代は、市井のYMCA、高校のHi-Yなど、学生中心のYMCA活動が盛んであった。特に学生YMCAは、各大学の自治寮を拠点とした地域活動、東山荘での全国大会など活発に動いていた。当時、寮生活と言う濃密な人間関係とキリスト教への興味を通して生涯の友との出会いもあった。

ところが時代を経て、老朽化した寮を建て直し個室が充実してくると学生同士の交わりも変わってきた。つまり人間関係が希薄化し、個人の孤立化が進んできたのである。その上、70年代の学園闘争の影響も受けてOBとの断絶が目立ちはじめ、それに伴い寮生とOBとの絆も崩壊してきた。今は、下宿代わりの寮生と熱心に地域活動を続ける学生との分裂が生じている。

先般、新年度会長、部役員の研修会(東山荘、3月)で、山田公平理事がワイズは、ユース・エンパワメントとの連携が必要だと提唱されたことを思い出した。シティYMCAのユースリーダーのパワーを借りなさいと言う意味であろうが、もう一つ、学生YMCAとの絆も強化すべきであろうと思う。いずれにしても若い力に期待し、YMCAとシームレスに繋がるワイズでありたいと願う。

◆2024年4月例会報告

日時：2024年4月17日(水) 18:30~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、西澤、西本夫妻、根本、目黒、村杉、柳原、
樋口各メン(司会進行：村杉メン、受付：樋口メン)

ゲスト： 千葉県少年自然の家 所長 佐藤 健 様



「夢ニ胡蝶トナル」とは荘子の説話で、
自然と融和した自由な生き方のこと。

▲ 概要

- ① 開会点鐘、つづいてワイズソング、ワイズの信条、聖句の後、食事会となりました。手料理の巨匠西本晃子メンから、タケノコのうま煮の差し入れがあり、大満足。
- ② メンバー近況報告では、弘前城の桜満開、東京国立博物館(上野)無料入場可、古平メン長野でご活躍、佃島発見、花見ガイドなど
- ③ 各種報告
 - 1) 5月15日(水)5月例会卓話
・「能登半島地震支援」報告
 - 2) 4月6日(土)関東東部「EMCを考える集い」
・報告書配布
 - 3) 6月8日神田川船の会催行準備関係
・ちらし、小冊子増刷その他
 - 4) 6月14日(金)恒例の田園調布学園船上学習実施のため、詳細打合せ中。
 - 5) 5月18日(土)IBCマニラダウタウンクラブのメネットクラブ 50周年記念式典の招待状が届いたが、希望者なく、欠席と回答。

▲卓話報告

卓題：「夢ニ胡蝶トナル - 昆虫採集への誘い」
卓話者：千葉県少年自然の家 所長 佐藤 健 様
プロフィール：

【略歴】1955年東京生まれ 高校時代からバック
パッカー 法政大学地理学科卒業

【職歴】東京 YMCA では野尻・妙高、杉並などを
担当 新潟県立こども自然王国

【個人活動】日本自然保護協会自然観察指導員
千葉県昆虫談話会

【趣味等】天体観望、登山、ロングトレイル歩き、
昆虫採集

【卓話骨子】

- ① 昆虫好き(「虫屋」)は、どんな人がいるか

■奥本大三郎 フランス文学者「ファーブル昆虫記」訳
■養老 猛 解剖学者「バカの壁」日本昆虫協会理事
■池田清彦 生物学者(構造主義生物学) 環境問題
■岡田朝雄 ドイツ文学者 元日昆協副会長
■鳩山邦夫(故人) 政治家 元文部大臣
■福岡 伸一 生物学者(分子生物学) 青学大教授
「生物と無生物のあいだ」「動的平衡」
■村田泰隆(故人) 村田製作所社長
■やく みつる 漫画家 日昆協副会長 協会ロゴマーク制作者
■ヘルマン・ハッセ ドイツの作家「車輪の下」「少年の日の思い出」
その他 泉 麻人 香川照之 哀川翔 寺門ジモン つるの剛士
井上咲良 斎藤美奈子

- ② 日本は昆虫の種類が多い(32,000種)。南北に長いことと国土の73%が山地、丘陵地であるから。(英国は18,000種しかいない)
- ③ 昆虫採集によって昆虫は絶滅しない。

☐絶滅の要因は生息環境の破壊・放置



ゲンゴロウ(左)は東京・千葉で絶滅
ゲンヤンマ(中央)は一生涯を産んだ池から離れない
「国蝶」オオムラサキ(右)は雑木林とともに消えゆく運命

日本での絶滅、減少の要因は以下である。

- 1) 生息環境の破壊や放置による
 - ・水田減少、農薬散布：ゲンゴロー、タガメ
 - ・雑木林、牧草地減少：オオムラサキ
 - ・里山放置：キクイムシによる「ナラ枯れ」
- 2) 外来種が生態系を変える
- ④ 「※人新世」の時代、種の多様性を守るのも壊すのも人間次第である。

※人類が地球の地質や生態系に与えた影響に
注目して提案されている地質時代区分のこと。

(樋口 記)

◆関東東部「EMCを考える集い」報告

日時:4月6日(土)14:00~17:00

場所:東陽町コミュニティーセンター

出席者:合計33名(グリーン出席;樋口、青木、柿沼各メン)



① 関東東部の現状:事業主査:大澤メン(所沢)

- ・2024年3月末時点で会員数114名
- ・茨城、東京ベイ伊台が今年度でクローズとなる

② 各クラブ現状報告:各会長からEMC現状ひとこと

③ 4名の新入会員によるスピーチ:入会の動機など

④ 6グループで話し合い:リーダーによる発表

⑤ 山田理事挨拶ご所感:

「会員が減ってきているのはなぜか?私たちが支えているYMCAが果たしてワイズを必要としているのか徹底的に考える必要がある」と話された。

⑥ 感想・気付き点

- 1) 新入会員の入会動機の共通点のひとつは、ワイズの親しい人(友人、知人など)からの誘いでした。身近な人への「声がけ」をしたい。
- 2) ワイズ活動は奉仕と交流の2輪が大事で、交流だけならクラブが長続きしないと思います。YMCAを支援する奉仕事業は長く続けるための仕掛けづくりが重要と思います。「神田川船の会」につき具体的に考えてゆきたいと思います。
- 3) YMCAが「本当は」ワイズを必要としていないのではないか?この命題に、逃げないで取り組む謙虚さが私には課題だと思いました。

(樋口 記)

◆W4W/東陽町クリーンウォークに参加

東陽町コミュニティーセンターでは、近隣の環境美化のため、月に一度清掃を行っています。

このたび、W4Wの一環として4月16日(火)参加し、センター近辺を45分間ゴミ拾いしました。(樋口 記)



◆2024年5月第一例会卓話のおしらせ

例会日時:5月15日(水)18:30~20:30

場所:東陽町コミュニティーセンター

卓題:(仮)「能登半島地震支援」

卓話者:東京YMCA会員部スタッフ 熊沢 佳代 様

【職歴】

- ① 1989年に東京YMCA社会体育専門学校を卒業し、東京YMCAに入職。最初は専任講師として、その後正職員としてキャリアを積み、山手センター、ウエルネス神田、東陽町ウエルネス、芝浦アイランド交流プラザ、グランチャ東雲にて活躍されました。
- ② ウエルネスでは水泳やキャンプ事業に携わり、芝浦や東雲では高齢者の介護予防に水泳や体操指導などを担当されました。
- ③ 現在は会員部で、チャリティーランなどのイベントを主に担当されています。
- ④ 能登半島地震支援活動においては、支援初期と後期の二度にわたり現地入りし、活躍されました。また、募金活動なども積極的に行い、被災地の支援に尽力されています。熊沢さんの献身的な活動は多くの人々に希望と勇気を与え、社会への貢献が高く評価されています。

(樋口 記)

◆2024年5月第2例会(役員会)

日時:2024年5月8日(水)15:00~16:30 Zoom

1. 5月例会打合せ
2. 神田川船の会催行準備関係
3. その他

(樋口 記)

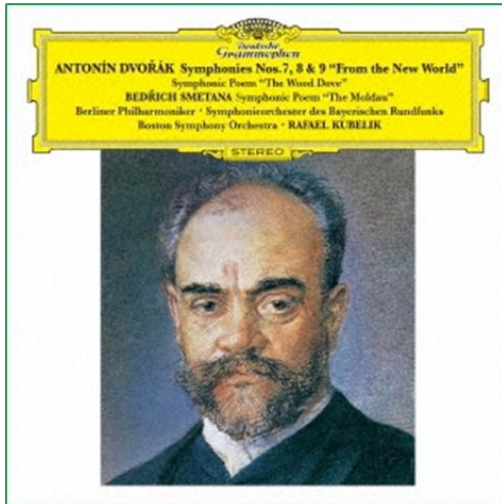
◆今後の主なスケジュール

- 1) 5月10日(金) 東陽町クリーンウォーク12:30~
- 2) 5月15日(水) 5月例会(東陽町)18:30~
- 3) 5月18日(土) 関東東部第3回評議会および次年度引継会(東陽町)
- 4) 5月25日(土) 関東東部 Ys/Y 協議会(Z)19:00~
- 5) 6月1日(土) 第27回東日本区大会(十勝)
- 6) 6月8日(土) 第89回神田川船の会(浅草橋)
- 7) 6月12日(水) 6月第二例会(Z)15:00~
- 8) 6月14日(金) 田園調布学園校外学習(浅草橋)
- 9) 6月19日(水) 6月例会(東陽町)18:30~
- 10) 7月10日(水) 7月第二例会(Z)15:00~
- 11) 7月17日(水) 7月キックオフ例会(東陽町)18:30

(樋口 記)

🌱新緑に似合う🌱

ドヴォルザーク交響曲第8番



アントニン・ドヴォルザーク(1841-1904)

交響曲第8番ト長調作品88番(1889・48才)

指揮:ラファエル・クーベリック(1914-1996)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(1966録音)

新緑に花は咲き鳥は啼き、野に山にウォーキングの季節。聴くとますます元気が出る曲です。

スメタナと並ぶチェコ国民楽派の代表ドヴォルザークの最高傑作とされています。出身地ボヘミア地方の民謡の音階を用い、すこし憂いのあるメロディーやフレーズが魅力的です。またフルートをはじめ各々楽器パートに聴かせどころがあり、演奏者は大変気合いが入るそうです。

・第一楽章は、冒頭の哀愁に満ちたフレーズとフルートのさえずりに惹きつけられます。

・第二楽章は、ちょっとトーンを落として鳥が啼き静かな味わい。一瞬不安げのある場面は何を意味するのか。

・第三楽章は、明るく楽しいなスラブ舞曲風のメロディー。広々とした農村で人々が踊ってるようです。

・第四楽章は、いきなりファンファーレに次いでチェロによる牧歌的なメロディーがジャズのようにどンドンと変奏され最後に盛り上がり曲が終わります。聴きどころは、最後に盛り上がる一歩手前で徐々に静かになる所です。まるで、はしゃぎすぎを反省するかのように神妙な瞬間で、ティンパニーの静かなトレモロが実に効いています。

推薦 CD は、チェコの巨匠クーベリック指揮の若々しく力強い演奏です。ライブでは1978年カーネギーホールでのクリーブランド管弦楽団演奏会(指揮ロリン・マゼール)の美しい音色が忘れられません。(樋口 記)

1. 3月末までを第1次募金期限としていた「能登半島地震YMCA緊急支援募金」は、全国YMCAが協力し第2次支援募金として4月以降も継続することになった。

3月末までに東京YMCAには8,169,890円の募金が寄せられ、支援スタッフの派遣費用、支援物資の購入などに用いた。

1年半ばかり3月末まで東京YMCAが担っていた輪島市町野町の避難所運営支援は、富山YMCAを中心とする全国YMCAの協力体制に引き継がれている。

2. 2002年に開設した西東京コミュニティーセンター(国立市)が3月末に閉館した。

これまでの働きは新年度からはじまる「多文化共生スペース▽(さんかく)」の事業に形を変えて引き継がれる。また一橋大学YMCA学生寮(国立市)のホールをお借りして、引き続き西東京地域で活動を展開する。

3. 4月16日、「第2回ウクライナYMCA支援活動報告会」がオンラインで開催され、日本から約40人、ウクライナYMCAから約20人のスタッフや会員が参加した。

東京YMCAがこれまでに送金したウクライナ支援募金55,000ドルにより、戦争で傷ついた子どもたちの心のケアを目的とするキャンプを実施し、約2,600人が参加したとの報告があり、東京YMCAの支援に対して感謝が示された。

4. 4月18日、「第33回チャリティーゴルフ大会」がP GM総成ゴルフクラブで開催され、23グループ87人が参加した。表彰式は開催せず、プレイ後に抽選会などを楽しんだ。

益金約40万円は、能登半島地震被災地支援、及びフレンドシップファンド(経済的支援が必要な子どものプログラム参加費支援)のために用いる。

5. 4月29日「高石ともや
バングラデシュ支援チャリ
ティーコンサート」(日本基
督教団浅草教会)今年で
19回目。チケット完売で
入場できなかった方が多
数帰路に就いた。



6. 今後の主な行事予定

- 1) 「早天祈祷会」5月7日奨励:菅谷淳総主事(山手センター/オンライン)
- 2) 「第21回会員大会」5月25日(山手センター)(クラブ担当主事:柳原 記)